

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	リニア見学センター	所管課	リニア推進課
所在地	都留市小形山2381	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年3月28日
管理方式	指定管理者(都留市、平成23年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立リニア見学センター設置及び管理条例		
設置目的	より多くの人にリニアモーターカー及び山梨リニア実験線をわかりやすく紹介し、リニア中央新幹線の早期実現に向けて広く普及啓発するため、リニア見学センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	1階:事務室・売店(219.26㎡) 2階:展示室(144.18㎡) 3階:展望室(111.49㎡)		
主な業務内容	(1)リニアモーターカーに関する情報の収集及び提供に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	利用者数	105,539	101,506	82,293	
	利用者数合計	105,539	101,506	82,293	
	目標値	85,000	85,000	85,000	78,500
	目標値設定の考え方	・リニア試乗会の再開も考えられないが、前年度より実績5%の増が図られたことから目標値についても前年度の5%増とする。 ・22年度もリニア試乗会の再開は見込まれないうえ、走行試験日も不定期のため前年度と同数とする。 ・23年度もリニア試乗会の再開は見込まれないうえ、10月以降走行試験が行われない可能性が高いため前年度と同数とする。 ・24年度は走行試験が行われないため、前年度の10%減とする。			
	対21年度比	100.0%	96.2%	78.0%	74.4%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	18,059,000	17,940,000	17,940,000	18,096,000
	その他	20,006		39,624	
	収入合計(A)	18,079,006	17,940,000	17,979,624	18,096,000
支出	人件費	4,797,487	6,096,000	5,803,208	6,000,000
	県への納付金				
	管理運営費	13,281,519	11,844,000	12,176,416	12,096,000
	(うち外部委託費)(B)	2,092,954	2,532,000	2,045,199	2,620,000
	支出合計(C)	18,079,006	17,940,000	17,979,624	18,096,000
収支差額(A-C)		0	0	0	0
外部委託比率(B÷C)		11.6%	14.1%	11.4%	14.5%
利用者一人当りの経費		178	211	218	231

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(H〇～〇年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(H〇～):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月～24年3月 実施方法:来館者へのアンケート 回答数:536人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設の整備状態	77.4%	0.0%	8.8%	13.8%
②展示品の充実度	74.3%	0.0%	11.6%	14.2%
③リニアへの理解度	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%
④施設全体の満足度	59.3%	37.3%	3.4%	0.0%
各項目の平均	63.9%	21.8%	7.3%	7.0%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・展示物の充実、実物車両の展示をしてほしい。 ・子どもにもわかりやすい展示、子どもが楽しめる展示物が欲しい。 ・体感できるコーナーがほしい。 ・走行試験がないときは、実物車両の内部を見学できるようにしてほしい。 ・2,3ヶ月先の走行スケジュールの公表、休日での走行試験実施及びリニア試乗会の開催 ・軽食ができるスペース、休憩所を設置してほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用者の生の声を聞き、改善できる点はしていきたい。現在、リニア見学センターのリニューアルを計画しており、無償で借り受けることができた実験車両の展示を中心に、学習機能、体験機能を重視した展示物を設置することを検討している。 なお、走行試験の再開は平成25年中を予定しているが、走行試験日等については、JR東海の意向により決定するため、当センターとしては改善困難な点が多々ある。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。
自主事業		
利用状況	利用者数の増加は困難だが、地域の団体などへのPR活動に努め、事業計画の目標は概ね達成できた。	走行試験が中止されていることから、利用者の増加はしばらくは見込めないが、効果的なPR活動を検討し、実施すること。
収支状況	修繕費が計画より大幅に増えたが、節電の徹底などにより経費の節減に努めた。	引き続き経費削減に努めること。
利用者満足度	早急に対応できる利用者の声については、対応を行った。今後とも利用者の声を聞き、改善できる点は行い、より一層のサービス向上に努めていく。	引き続き利用者ニーズの把握に努め、管理運営に反映させるよう指導した。
運営目標の達成状況	総利用者数(82,293人)は目標総利用者数(85,000人)を若干下回っているが、東日本大震災の影響及び9月末に走行試験が終了するなどマイナス面の影響が多いなか、旅行会社等へのチラシ配布や広報活動等の地道な活動により、目標数に近い利用者数を維持できたことは評価できる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務については条例、協定等に基づき概ね適正に履行されている。 利用者については、東日本大震災の影響や走行試験の中止などにより大きく減少してしまった。 パンフレットの配布数も昨年度に比べ減少しているため、効果的なPR活動を検討し、少しでも利用者が増加するよう努力してほしい。	

施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況

今後も施設管理・運營業務について適切に履行し、超電導リニア及び山梨リニア実験線をわかりやすく紹介し、リニア中央新幹線の普及啓発に努める。また、効果的なPR活動を検討し、実施していく。

7. 管理体制(組織図)

